

次のA～Eにあてはまるものを【Ⅰ群】から、文化を代表する人物を【Ⅱ群】から、その人物に最も関係の深い事柄を【Ⅲ群】からそれぞれ1つずつ選び、記号を答えなさい。

- A 武家文化と公家文化が融合し、中国との貿易により中国の文化も流入した。
- B 富を得た商人中心の文化で、上方で栄えた。
- C 貴族や僧を中心とした伝統文化に加え、武士や民衆による文化が発達した。
- D 政府は海外の文化を取り入れるための技術者を招くとともに、多くの青年を留学生として海外に派遣した。
- E 江戸の町人を中心とした文化で、川柳や狂歌が流行した。

【Ⅰ群（文化）】

- ㊦ 天平文化
- ㊧ 明治の文化
- ㊨ 桃山文化
- ㊩ 化政文化
- ㊪ 飛鳥文化
- ㊫ 元禄文化
- ㊬ 室町文化
- ㊭ 鎌倉文化
- ㊮ 国風文化

【Ⅱ群（人物）】

- ㉓ 今川義元
- ㉔ 光明皇后
- ㉕ 菱川師宣
- ㉖ 菅原道真
- ㉗ 千利休
- ㉘ 小林一茶
- ㉙ 清少納言
- ㉚ 藤原道長
- ㉛ 織田信長
- ㉜ 最澄
- ㉝ 世阿弥
- ㉞ 聖徳太子
- ㉟ 一遍
- ㊱ 森鷗外
- ㊲ 小野妹子

【Ⅲ群（事項）】

- ㊳ 蘭学
- ㊴ 「舞姫」
- ㊵ 遣唐使
- ㊶ 浮世絵
- ㊷ 侘び茶の完成
- ㊸ 「枕草子」
- ㊹ 平等院
- ㊺ 水墨画
- ㊻ 能
- ㊼ 時宗
- ㊽ 曹洞宗
- ㊾ 「若菜集」
- ㊿ 東大寺
- ㋀ 「みだれ髪」
- ㋁ 俳諧

A Ⅰ群	A Ⅱ群	A Ⅲ群
B Ⅰ群	B Ⅱ群	B Ⅲ群
C Ⅰ群	C Ⅱ群	C Ⅲ群
D Ⅰ群	D Ⅱ群	D Ⅲ群
E Ⅰ群	E Ⅱ群	E Ⅲ群

解答

Aは「武家文化と公家文化の融合」から室町文化（北山・東山文化）です。世阿弥が能を大成しました。

Bは「上方で栄えた」から元禄文化です。浮世絵の祖といわれる菱川師宣が「見返り美人図」を描きました。

Cは「伝統文化に加え武士や民衆」から鎌倉文化です。一遍が踊り念仏による時宗を開きました。

Dは「海外からの技術者」（お雇い外国人）から明治の文化です。森鷗外が「舞姫」を著しました。

Eは「江戸の町人」から化政文化です。小林一茶が句集「おらが春」を著しました。

A I群 キ	A II群 ト	A III群 ム
B I群 カ	B II群 シ	B III群 フ
C I群 ク	C II群 ニ	C III群 メ
D I群 イ	D II群 ヌ	D III群 ハ
E I群 エ	E II群 ソ	E III群 ラ